

オンライン授業で学ぶ5つのポイント

ー規則正しい生活を心がけ、楽しく効果的に学ぼうー

附属図書館長 稲井 達也

5月11日(月)から、オンライン授業が始まりました。

オンライン授業は、教室でのリアルな対面授業とは異なり、学生のみなさん一人ひとりの「自己管理」が求められます。

対面授業がすぐに始められないのはとても残念ですが、「ピンチはチャンス」という言葉もあるように、この経験はみなさんの将来にとってもけっして無駄なことではありません。

むしろ、積極的にオンライン授業に参加し、楽しく効果的に学んで欲しいと思います。そして、この「学びのチャンス」を、みなさん一人ひとりの「生きる糧」にしてください。

まずは、規則正しい生活を心がけ、オンライン授業を生活の一部にしてください。

また、オンライン授業でも、遅刻(時間割通りの配信の場合)や、学び忘れをしないように注意してください。

図書館としても、みなさんの学修支援に努めていきます。

具体的な5つのポイントを考えてみました。

ポイント1 スケジュールを組もう

オンライン授業はスケジュール管理が大切です。次の点を実行してみましょう。

- ① 紙の手帳、スマホのカレンダーなどに、スケジュールを記入しておく。先を見通すため、2週間分のスケジュールを入れておくのが望ましい。
- ② Zoom や Teams を使って行われるリアルタイム型の授業の場合、出席を忘れないように、実施日時を記入しておく。出席を忘れないようにするため、スマホの通知機能を設定しておく。
- ③ TO-DO リストを作り、学修課題をリストアップし、締め切りと提出方法(T-Po など)についてもあわせて記入しておく。

ポイント2 インターネット環境を確認し、整えよう

パソコンやタブレットがあるのが理想ですが、急に購入はできないと思います。しかし、スマホでできることもたくさんあります。

- ① Wi-Fi 環境がない場合、ケータイ電話の通信容量の契約状況を確認する。
スマホ利用の場合、Wi-Fi で接続せずに電話回線で接続する場合、すぐに通信量が上限に達してしまう可能性があります。
契約の変更が必要な場合は、わざわざ店舗に出向かなくても、オンラインで契約を変更できます。
- ② Microsoft365[Office365]の使い方を身につけよう。【本学学生向けサービス】
ネットにつながれば、ワードやパワーポイント、エクセルが使えます。これを機会に、Microsoft365[Office365]をふんだんに使い、徐々に使い方を身につけていきましょう。
- ③大学から送られてきた「マニュアル」は、PC、タブレット、スマホなど、主に利用する端末に保存しておく。
送られてきた日付とファイル名をつけると検索しやすくなる。
例 20200429zoom マニュアル

ポイント3 ノートを取り、資料を整理しよう ―情報管理が大切―

オンライン授業は、つい「受け身な姿勢」で受講しがちです。教室での授業と同じように、ノートをとりましょう。

また配付された資料は、整理しましょう。整理しておかないと、いつのものなのか、すぐに取り出せなかったり分からなくなったりしてしまいます。後から整理するのは大変です。名前をつけて、時系列でファイルなど保存しましょう。

- ワークシートによるコンテンツの場合、
 - ・ノートに、学修内容の記録をつける。
 - ・ノートに、ワークシートで学ぶ際に参照したウェブサイトや図書について記録をつけたり、メモを取ったりする。

- 配付された参考資料(レジュメや読み物など)
 - ・ファイル名をつけて、主に使っている端末に保存しておく。
 - ・プリントアウトが可能であれば、プリントアウトし、日付をつけてファイルに保存しておく。

- 動画によるコンテンツを利用したオンデマンド授業
 - ・講義の進行にあわせて、重要なことや、自分が理解したことをノートに記録しておく。

ポイント4 インターネットを活用し、情報活用しよう

先生が紹介したり、指示したりした資料はできるだけ参照するようにします。外出自粛が求められている環境下にありますので、インターネットを積極的に活用しましょう。

本学の図書館では、新聞のデータベース、電子書籍、様々な参考資料が学外からアクセスして閲覧することができます。

ただし、インターネットの情報は、扱い方に特別の注意が必要です。

<インターネットの情報を活用する際の注意点>

- ・公的機関・団体等の公式ホームページから情報をとるようにし、個人の SNS やブログの情報は取らない。

- ・インターネットの情報は、断片的であり、情報の全体像や関連性が見えにくいので、複数のサイトを見て、情報同士を比較するようにする。

- ・インターネットの情報は、情報の真偽が不確かなものがあり、他のサイトからコピーしたのも多く、出典が不明なものも多いので、できるだけ原典を調べるようにする。原典が手元にない場合、インターネット上の公式ホームページ、例えば国立情報学研究所の論文検索サイト(<https://ci.nii.ac.jp> など)に公開されている論文、本学図書館の電子書籍などにあたり、どのように情報が出ているかを確認する。

- ・インターネットの情報は、意図的に作られた偽情報(フェイク・ニュース)があるので、テレビや新聞にどのように情報が出ているかを確認し、真偽を確認する。

・閉館中の図書館では、図書資料の郵送と資料のコピー(複写)サービスを行なっています。詳しくは、こちらを見てください。 https://www.tais.ac.jp/library_labo/library/

ポイント5 学ぶ仲間をつくろう

オンライン授業では、学ぶ仲間が大切です。

2年生～4年生は、すでに顔見知りの友だちがいれば連絡を取り合い、学びの状況や生活について情報を共有するようにしましょう。

1年生の授業では、個人情報の取り扱いという問題があり、Teams や Zoom でのオンライン授業内での個人情報の交換はできません。しかし Zoom のようにお互いの顔が画面上で見られる場合もあります。ディスカッションなどのコミュニケーションには積極的に参加し、対面の授業が始まって、実際に仲間に出会える時に備えておきましょう。